

インタビュー

Interview



『図書館の新たな可能性をひらく』 本を借りる場所から、人と地域が 出会う場所へ

学びの杜ののいち カレード
館長 吉富 達也氏

学びの杜ののいち カレードの館長に就任して約2年半。私がカレードで大切にしているのは、『本を借りる場所』というだけではなく、『人と人、人と地域がつながる場所』であるということです。読書や学習は、もちろん図書館の大切な役割です。でも、ふらっと立ち寄って誰かと出会ったり、地域の魅力を発見したり…。そんな過ごし方があっていいのではと思っています。

そういった思いで、これまで憩いの広場や併設のギャラリーなどを活用して、いろいろなイベントを開催してきました。イベントを通して、普段は図書館を利用する機会が少ない方にもカレードを知っていただけると、とてもうれしいです。

また、昨年オープンした「TOSHOP」もカレードの新しい魅力の一つです。本や文具だけでなく、地元の特産品や手作り商品なども取り扱っています。イベントなどをきっかけに訪れた県外の方からも好評をいただいています。

野々市の皆さんは本当にあたたくて、日々地域の皆さん、地元企業の皆さんとの「つながり」に支えていただいていることを実感しています。学生さんが勉強に訪れ、親子と一緒に本を読み、地域の人が集い、遠くから訪れた人が野々市の魅力に触れる。そのように、世代や目的を超えて、誰もが心地よく過ごせる場所にしていきたいと思っています。

これからも地域の皆様と一緒に、人が集まり、出会い、そこから新しいにぎわいが生まれる場所をつくっていききたいですね。

図書館データ (R8.3.31現在)	
開架	167,577冊
書庫	86,130冊
雑誌	7,950冊
CD	857枚
DVD	741枚
年間利用者数	349,567人
年間貸出数	519,688冊



特集

カレードって どんなところ？



学びの杜ののいち カレード

住 所 太平寺4-156
電 話 248-8099
ファクス 248-8175
開館時間 9:00～22:00
休 館 日 毎週水曜日、年末年始（12月29日～1月3日）、特別整理間（図書館のみ）



表紙のクイズ、皆さん分かりましたか？ 正解は、「学びの杜ののいち カレード」の一角です。実際にどこで撮影したかは、ぜひカレードに行ってみてください。

「学びの杜ののいち カレード」は、図書館と市民学習センターが一体となった生涯学習施設です。愛称の「カレード」には本と人が交わり合い、万華鏡（カレイドスコープ）のように市民が光り輝く場所になるように、という願いが込められています。

館内には、多彩なジャンルの本が並ぶ開放的な図書エリアに加え、キッチンスタジオや音楽スタジオ、創作スタジオなど、皆さんの「やってみたい」を形にするための充実した環境が整っています。静かに自分だけの時間を楽しむ読書はもちろん、仲間とのサークル活動や各種講座への参加など、使い方は自由です。

またカフェも併設されており、憩いの場としても親しまれています。子どもから高齢者まで、誰もが気軽に立ち寄り、人との出会いを楽しめるカレード。皆さんの日常を豊かに彩る「学びの杜」に、ぜひ足を運んでみませんか？

読書も創作もカフェも。
あなたの日常を彩る場所

天井から下がってる布は何？

パオと呼ばれる昇降幕です。外側の幕に野々市の原風景の『ののいちの輪』（写真右）、内側の幕に森羅万象の『世界の輪』（写真下）が描かれています。野々市出身のアニメーション監督・米林宏昌氏がこの図書館のために原画を書いてくれました。

パオの下は靴を脱いで本を読めるスペースになっていて、毎週おはなし会が開催されています。



おはなし会のときにはパオが下がり、参加者を包み込みます。



図書館に置く本は誰がどうやって選んでいるの？

選書担当のスタッフが新刊が掲載されたカタログからどの本を購入するかを決めます。皆さんから希望のあった本やトレンドの本、蔵書が手薄なジャンルなど偏りのないように選びます。毎週200冊前後が図書館に届き、一冊一冊丁寧に確認した後、土曜日に新刊コーナーに並べられます。



借りた本に汚れや書き込みがあったらどうすればいいの？

スタッフも本の汚れや破損をチェックしていますが、返却時に気づいたことを教えてください。もし汚したり破ってしまったりしても、自分で修理をせずにスタッフに知らせてください。

図書館の本は市民の大切な財産です。多くの人が気持ちよく利用できるようマナー向上に協力をお願いします。

汚れてしまったり、破れてしまったりした本の例



ページが破られています。



食べこぼしの跡がついています。書き込みがされています。



濡れてページがくっついていました。

もっと知りたい!!

カレードのアレコレ

真ん中にある大きなタワーは何？

この図書館のシンボル、「ブックタワー」です。建物を支える大きな柱を活用し、天井まで本が収納されています。2階、3階部分は閉架書庫となっていて中に入れるのはスタッフのみ。今回特別に中に入り撮影させてもらいました。



高さは約9メートル！ 本が1万5千冊収納できます。

探している本が見つからないときはどうすればいい？

資料検索機のほか、スマートフォンやパソコンから本を探すことができます。探し方が分からないとき、探しても見つからないときは気軽にスタッフに声を掛けてください。

そのほか、「〇〇について調べたい」「内容は分かるけど、タイトルがうる覚え」「テレビで見たあの本が読みたい」など幅広い相談に応じます。中には「この花の名前が知りたい」と花を手にかウンターに訪れた人も。

スタッフの腕の見せどころ! /



カレードにない本は、市外の図書館から借り受けることも。

ちょっとのぞき見 /

図書館の裏側

書庫

利用の少なくなった本や雑誌のバックナンバー、貴重な本などは書庫に収納されます。蔵書のうちの3分の1はここに収納されています。

配架場所が書庫になっている本はスタッフが出しますのでカウンターで声を掛けてください。



自動で動く本棚。人が挟まらないようにセンサーがついています。



貸出しの際はラベルを頼りに素早く探し出します。

返却用ブックポスト

本の返却はブックポストへ。機械で読み取っているので、1冊ずつ入れてください。
※CD・DVDや大型本、他の図書館から取り寄せた資料は、直接カウンターに返却してください。



1冊ずつ
ゆっくり入れてね

カレードキャラクター
カレンちゃん



外はこんな感じ。

中はこうなっています。



スロープを開けると…?



読み取り機が入っていて自動で返却されます。

体験して学びを深める

市民学習センターは、市民の皆さんがあらゆる文化や芸術に親しみ、創造的な活動や交流の場として、生涯学習を支援する施設です。さまざまな活動ができる各種スタジオが、図書館を取り囲むようにして併設されています。

カレードは図書館の利用者と市民学習センターの利用者が、お互いの活動に興味を持ってもらうため、各種スタジオの様子が図書館から見えるようになっています。

市民学習センターの
利用方法はこちら▶



🎵 音楽スタジオ



楽器や合唱、ダンスの練習、発表会や映画会などに利用できます。

🏢 研修室・会議室



各種会議、研修、講演会などに利用できます。

🍳 キッチンスタジオ



料理教室や茶話会などに利用できます。

🎨 創作スタジオ1 [工房]



絵画、書道、生け花の創作活動などに利用できます。

🏺 創作スタジオ2 [陶芸]



陶芸、木工の創作活動などに利用できます。3Dプリンターもあります。

🖼️ 市民展示室、オープンギャラリー



芸術作品の展示、ワークショップ、講演会に使用できます。

イベント情報を
チェックしよう！

スタジオやオープンギャラリーを利用した各種教室やイベント、展示会は19ページ「学びの杜のいち カレードからのお知らせ」に毎月掲載しています。ぜひご覧ください。

ちょっと休憩

カレードには売店やカフェもあります。
読書や勉強、創作活動の合間に立ち寄ってみては？

トショップ TOSHOP



文房具や雑貨、おやつなど、図書館でちょっとした買い物が楽しめる新しい形のお店です。
地域の特産品やのっティグッズもあります。
※セルフレジによるキャッシュレス決済のみ

カフェドット CafeDOT



キッズスペースや小上がり席、キッズメニューもあり、世代を問わず楽しめるカフェです。テラス席では愛犬と一緒に過ごせます。緑豊かな空間でゆったりとした時間をお楽しみください。